

2026年5月13日

報道関係者各位

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI)

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュートに「責任ある研究・イノベーション (KEIO-RRI)」センターを設置

— 科学技術と社会の共創による持続可能な未来の実現へ —

慶應義塾大学 グローバルリサーチインスティテュート (KGRI) 内に、このたび「責任ある研究・イノベーション (Responsible Research and Innovation: RRI)」の推進を目的とした新たな研究拠点「KEIO-RRI センター」を設置しました。

本センターは、科学技術の急速な進展に伴い顕在化する倫理的・法的・社会的課題 (ELSI) に対応しつつ、研究開発と社会との双方向的な関係を構築することを目指します。バイオテクノロジー、AI、ロボティクス、フードテック、災害技術などの様々な先端領域において、研究者、市民、政策担当者、産業界が協働する新たな知識共創の枠組みを提示します。

1. 背景

近年、先端科学技術の発展は社会に大きな恩恵をもたらす一方で、不確実性や価値対立を伴う複雑な課題も生み出しています。これらの課題に対処するためには、研究開発の初期段階から倫理的・法的・社会的影響 (Ethical, Legal, and Social Issues: ELSI) を見据え、多様なステークホルダーの視点を取り入れていくことが不可欠です。2010年代に入り、欧州を中心に発展してきた「責任ある研究・イノベーション (Responsible Research and Innovation: RRI)」の考え方は、こうした要請に応える枠組みとして国際的に注目されています。しかしながら、日本国内では、「RRI」を正面から捉えたうえでセンターの名称に冠し、研究・実践を行う研究センターはありませんでした。

このような中で、慶應義塾大学では先駆けて KEIO-RRI センターを設置し、国際的な RRI 研究を牽引していきます。

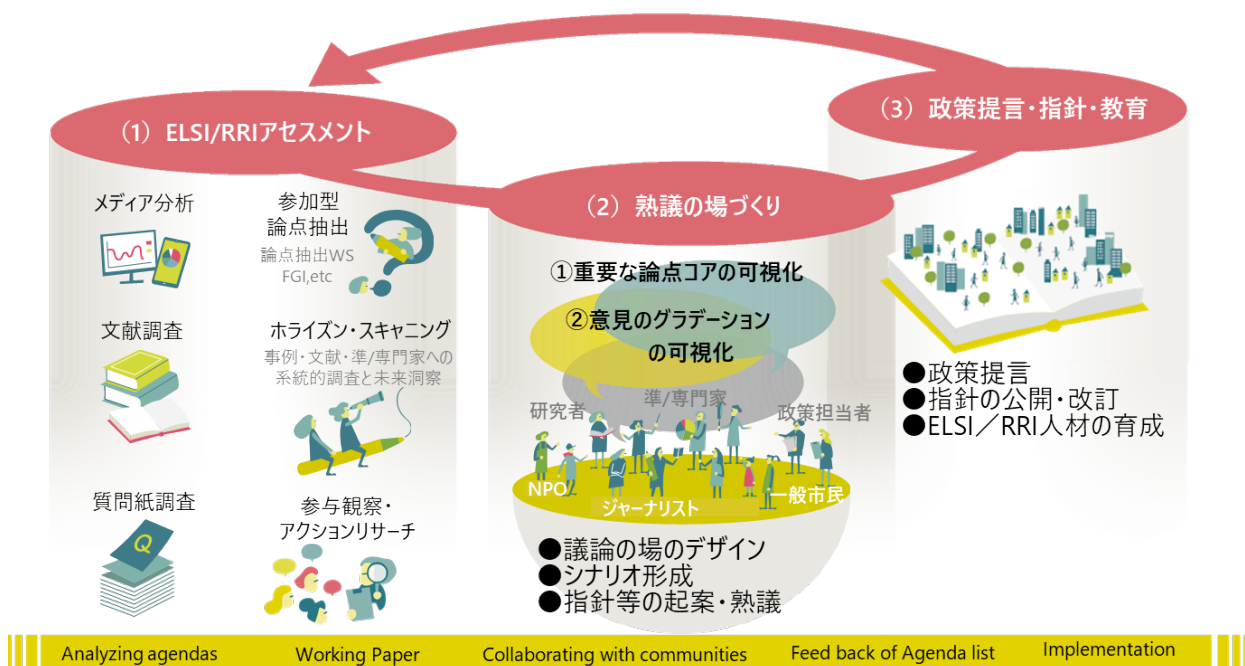
2. 新組織の概要と実践

本センターは、科学技術の急速な進展に伴い顕在化する倫理的・法的・社会的課題 (ELSI) に対応しつつ、研究開発と社会との双方向的な関係を構築することを目指します。バイオテクノロジー、AI、ロボティクス、フードテック、災害技術などの様々な先端領域において、研究者、市民、政策担当者、産業界が協働する新たな知識共創の枠組みを提示します。



3. 主な活動内容

KEIO-RRI センターでは、複数の研究アプローチを併用した ELSI/RRI に関する体系的分析を実施します。対象となる協力分野の文脈に即した実証的な ELSI/RRI 研究から、ガイドラインや規範を共創する熟議の場のデザインまでを一気通貫で行います。そして、そこで得られた成果をルールメイクや政策提言、そして教育活動へとインプットを行います。



- 先端科学技術に関する ELSI/RRI の体系的分析・評価
- 市民参加型ワークショップや対話プログラムの実施
- 政策提言およびガイドラインの策定
- 国際共同研究および学際的研究ネットワークの構築
- 教育プログラムおよび人材育成（次世代研究者・実務家）

4. KEIO-RRI の強みと特徴

KEIO-RRI センターは、慶應義塾大学が有する学際的研究基盤を活かし、以下の特徴を有しています。

- 人文・社会科学と自然科学・工学の融合による統合的アプローチ
- 実証研究（調査・実験・社会実装）と理論研究の往還
- 日本発の RRI モデルの構築と国際発
- 科学技術政策（STP）との連携による実効性の高い提言

5. 今後の展開

KEIO-RRI センターは、国内外の研究機関、政府機関、企業、市民社会との連携を強化しながら、科学技術と社会の持続可能な関係構築に貢献していきます。特に、日本における RRI の制度化・実装に向けた実証的研究と政策対話を推進します。

- ・ 研究内容についてのお問い合わせ先

慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 准教授 標葉 隆馬（しねは りゅうま）

TEL : 042-564-2578 E-mail : shineha@kmd.keio.ac.jp

- ・ 本リリースの配信元

慶應義塾大学グローバルリサーチインスティテュート (KGRI) TEL : 03-5427-1702

E-mail : kgri-pr@adst.keio.ac.jp <https://www.keio.ac.jp/ja/org/kgri/>